



## N700系 【さくら】主な仕様

先頭形状は「エアロ・ダブルウィング」と呼ばれる形状で、車両間に全周ホクを採用することで騒音軽減も向上しています。

- ユニット構成  
8両編成  
(アルミ合金製)
- 乗車定員 546人
- 最高速度  
山陽：300km/h  
九州：260km/h
- 車両長  
(先頭車) 27,350mm  
(中間車) 25,000mm
- 車体幅 3,360mm
- 屋根高さ  
前 3,500mm  
後 3,600mm



## 800系 【つばめ】主な仕様

先頭形状は長く流れるようなスタイル。純白の車体は九州の緑豊かな自然に映える美しいデザインです。

- ユニット構成  
6両編成  
(アルミ合金製)
- 乗車定員 384人
- 最高速度 260km/h
- 車両長  
(先頭車) 27,350mm  
(中間車) 25,000mm
- 車体幅 3,380mm
- 屋根高さ 3,650mm

2011年

## 全線開業に向けての展望



九州旅客鉄道株式会社  
川内駅長 吉村 辰朗

平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業まで残すところ約1年となりました。鹿児島中央〜新大阪間が約4時間、鹿児島中央〜博多間が約1時間20分で結ばれ、交通環境が飛躍的に向上いたします。特に福岡、大阪などの都市圏との人、物、情報の交流は盛んにスピーディに行われることと思います。さらには、外国、特に韓国・中国などのアジア市場も視野に入れ外国人を呼び込む戦略も必要となります。韓国釜山から博多までは高速船で、そして博多からは、新幹線を利用して鹿児島まで気軽に旅行することが可能になります。

観光客を呼び込むためには、第一に、受け地としての観光地を磨くことだと思えます。特に、おもてなしの心を磨き、お客さまをお迎えすることが出来なければ、どんなに景色がよくても観光は続いていきません。土地

の雰囲気を活かしつつ、また行きたいと思ってもらうことが大切だと思います。第二に、フィーダー輸送(\*)です。新幹線から在来線・肥薩おれんじ鉄道・バス・レンタカー・タクシーなどと連携し、目的地までの輸送の整備も重要な課題であります。

第三に、お客さまがどのような観光地、イベント、物、食材を求めているかを追求し、お客さまの視点に立った商品の提供を図っていかねければならないと思えます。

観光産業の発展は交通、ホテル、お土産などサービス産業を奮起させ、消費拡大を呼び起こし、雇用創出につながります。薩摩川内市がますます発展するためにも観光産業の振興が大切だと思えます。私どもも市の玄関口として「元氣な町創り」「地域密着」「地域貢献」にさらに取り組んでまいります。

(\*) フィーダー輸送・・・鉄道駅から目的地までの端末的な輸送手段のこと

## 新幹線全線開業に対する 市民の声

市政モニターアンケート調査から抜粋

**全** 線開業は市全体が大きく発展するチャンスと考えられます。単に通過点にならないように政策の確立をお願いしたいですね。  
(40代・男性)

**お** いしい料理でのおもてなしが一番だと思えます。地元の食材をいまひとつ使われていないのでは。  
(50代・女性)

**甌** 島を自然観光地とするこゝとにより、島全体の活性化にもつながると思います。  
(60代・男性)

**観** 光客が新幹線を利用して来るのなら、目的地までの交通アクセスも充実していないと、期待外れになるのではないのでしょうか。  
(50代・女性)

**寺** 山公園に楽しめるような遊具があればいいですね。市街地もよく見えるので、川内駅からの交通手段も考えてほしいです。  
(30代・女性)

**川** 内駅を降りても交通手段などがわかりにくい、駅周辺に観光客を引きつけるものを取り入れてほしいです。  
(20代・女性)

**温** 泉など他市と比較していい所がたくさんあると思います。来てよかった、またいつか行きたいと思ってもらえるような気持ちが一番大切だと思います。  
(40代・女性)

**観** 光客の流れを良くするためには交通網の整備、受け入れ体制の充実、甌島の観光地の整備が必要だと思います。  
(70代・男性)

## 本市のシティセールスの取り組みについて

九州新幹線鹿児島ルートの全線開業を1年後に控え、本市が有する豊かな地域資源や暮らしやすい環境はもちろん、市民一人ひとりがもっているおもてなしの心・こだわりの心・思いやりの心などを活かしたシティセールスを効果的に推進し、本市の知名度・好感度の向上などを目指してまいります。

なお昨年は、シティセールスの一環としてロゴマーク「薩摩川内スピリッツ」を決定しました。また、本年2月には、本市の魅力ある地域資源の代表として「甌島、川内大綱引、甲冑・清色城跡地、きびなご」と、未来の薩摩川内を担う子供たちをモチーフにした4枚組のシティセールスポスター（次ページ下段）を作成しました。

今後、こうしたロゴマークやポスターなどを活用し、市内外で行われる各種イベントなどで本市のPRを積極的に進めてまいります。



薩摩川内  
スピリッツ

■きびなご



■甲冑・清色城跡地



■川内大綱引



■甌島

